

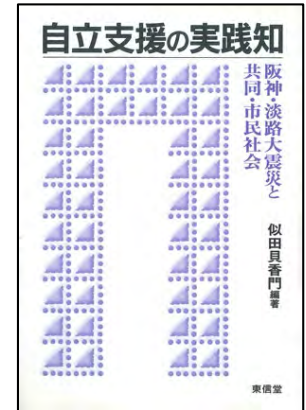
『自立支援の実践知』とその検証

～阪神淡路大震災の調査研究から
東日本大震災の支援・調査へ～

1. 阪神淡路大震災との関わり
2. 実践知
3. 東日本大震災以降
4. まとめ

1. 阪神淡路大震災との関わり

- きっかけ
- ボランティア論（支援論）
 - 草地賢一さんとの出会い
- 黒田裕子さん、大賀重太郎さん、村井雅清さんとの出会い
- 対話型の「調査」
 - 現場で何が起きているかを知る・理解する
- 言葉を「聴く」、言葉の意味を自分たちの用語系とすり合わせる



2. 実践知

- 黒田裕子さん（阪神高齢者障害者支援ネットワーク）
「人間と暮らしと地域」「聴く」
「最後まで生ききる」「つなぐ」...
- 大賀重太郎さん（被災地障害者センター）
「隙間と混在」「関係を切らない」...
- 村井雅清さん（被災地**NGO**協働センター）
「何でもありや」「たった一人を大切に」
「最後の一人まで」「十人十色」
「バラバラで、（なお）一緒」
「自立とは支え合い」...

2. 実践知

- 「たった一人を大切に」「最後の一人まで」
〈生の固有性〉
共約可能な欲求 公助の対象 行政の領域
共約不可能な欲求 自助の対象 私的な領域
- 「十人十色」「バラバラで（なお）一緒」
異質性、多様性
弱さ **valnarability**
ともに在る **co-presence**
- 「つなぐ」
専門職ボランティア
ネットワーク

3. 東日本大震災以降

- 東京大学被災地支援ネットワーク
 - 専門職ボランティアの立ち上げ
 - 最初は情報共有（メーリングリスト）
 - 被災地・支援者からの声に応答（ex. 足湯つぶやき分析）
 - 自分たちではできないことは出来る人（専門家等）につなぐ
 - 次第に被災地・支援者からの要望が減少
 - 被災地を自ら回って御用聞き（→復興グッズ販売支援）
- 熊本地震（九州の大学まわり）



足湯



ROAD プロジェクト足湯隊 つぶやきカード

聞き取り者名 9089

聞き取り場所 第1市民体育館避難所 27年 7月5日 (火)

性別 男性 年齢(何歳代) 60~70歳代 名前・あだ名 (分かれば)

つぶやき

母からいじわるに扱われてきた。妻は日本に一人前、おれは初めだ。
家は海沿い。すぐそばにうわのつぼみがある。夕日だ。
この避難所に来た4月。早く仮設に移りたい。なかなか当たらない。
避難所にはよくお世話になる。隣の省と隣の省(浪節)は人が悪い。自分だけ70
運動する。それから。浪節のそばに合宿したい。24時間。24時間。24時間。
いる。は。
この避難所には人がいい。おれは浪節のそばに合宿したい。
備考・感想

この避難所に来た4月。早く仮設に移りたい。なかなか当たらない。
避難所にはよくお世話になる。隣の省と隣の省(浪節)は人が悪い。自分だけ70
運動する。それから。浪節のそばに合宿したい。24時間。24時間。24時間。
いる。は。
この避難所には人がいい。おれは浪節のそばに合宿したい。

つぶやき



成果物

分析

震災被災者と足湯ボランティア
「つぶやき」から自立へと向かうケアの試み
似田員香門・村井雅清 (編集)

2000人の足湯ボランティアが
聴き取った1,6000の「つぶやき」

「つぶやき」を聴き、それを被災者の「声」として受けとめ、そこからの支えのつながりと
つながりを構築するケア活動としての足湯ボランティア。被災者の苦しみや悩みに応じて、
避難した心と身体を癒やす支援を必要とする支えのありかを見つけていく。足湯ランテ
ア、災害支援団体、ケア機関、社会福祉関係者による協働の記録。

生活福祉



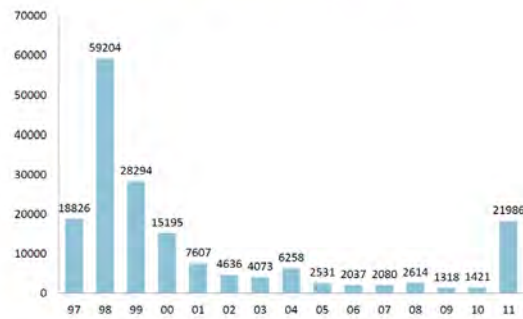
「こころの健康の分類カテゴリー」の作成

＜表2＞「つぶやき」こころの健康の分類 A ストレス 1. 家族間のストレス 2. 仮設(避難所)の環境がストレス 3. その他人間関係のストレス 4. 気を遣うよりとりがよい(非交流的) 5. イライラ	D こころの痛み 1. 自責感 2. もうたくさんだ 3. すまない申し訳ない 4. 死んだほうが良かった 5. やる気減退 6. 無力感 7. 他人を憐れむことができない(宗教観) 8. 喪失 8-1. 家族・大切な人 8-2. 自宅・財産 8-3. 仕事・その他 9. 涙 10. 諦め	G つながりの欠如 1. 孤独 2. 家族 3. 友人・コミュニティ
B 健康問題 1. 不活動(することがない・活動低下) 2. 不眠 3. 治療・病気 4. 身体・痛み 5. 食欲不振・体重増減 6. 精神不調 7. 疲れ 8. 飲酒 10. その他体調不良	E やりきれない(無理解・不公平) 1. 理解されない苦しみ 2. 不公平感 3. 怒り・不満 4. 人への不信 5. 悔みさ	H 楽しいつながり 1. 家族 2. 人間関係 2-1. 仮設 2-2. ボランティア
C 将来不安 1. 漠然とした不安 2. 住まいの不安 3. 仕事上の不安 4 経済上の不安	F 被災 1. 被災体験 2. 被災による怖さ 3. フラッシュバック 4. 回避(面白くない・出たくない)	I 希望へのあしがかり 1. 活動・趣味・楽しみを見つけている 2. 感謝 2-1. 現状への感謝 2-2. 人への感謝 3. 自分も役に立ちたい 4. 何かをして気を紛らわしている 5. 希望したい事(生活・家族関係・家など) 6. 希望の芽を見つけた 7. 意欲 8. 立ち直りの一歩
	J 頑張らなくちゃ 1. とりあえずポジティブ、頑張る 2. 生き残れたのだから生きなくちゃ	



まけないぞう

これまでの出荷実績



ハートニットプロジェクト

復興グッズ・被災地グッズ主宰団体連携会議



ハートニットプロジェクト



4. まとめ

- 弱さから始まる市民社会の再構築
 - 市民社会論における市民像の転換
- 実践知の思想の応用・展開（ex.低周波音問題の事例）
- 言葉（思想）と実践とのパートナーシップ